

<単元> 第2章 世界各地の人々の生活と環境② (教科書 地理p. 30~p. 42)

<めあて> 世界のさまざまな地域での人々の生活の様子について、自然環境と関連付けながらとらえよう。

- 教科書 p.30 の **1** の写真について、「ニジェール」の位置を地図帳で確かめるとともに、西側に隣接している国の名前を書きましょう。西側に隣接している国= ()
- 教科書 p.30 の **3** の雨温図をもとにして、「トンブクトゥ」の気候の特徴をまとめましょう。

気温	降水量
<input type="checkbox"/> 年平均気温が 28.6℃で月の平均気温は半年以上()℃を上回っている。冬でも()℃を下回らないことから、一年中暑いと考えられる。	<input type="checkbox"/> 年間を通して降水量が少ない。トンブクトゥの年降水量は、東京の()月の一か月分の降水量とほぼ同じになる。雨温図から、冬はほとんど雨が降らないと考えられる。

- 教科書 p.31 を使って、「サヘル」とはどんな地域なのかまとめましょう。

<サヘルとは>

アフリカ北部の広大な()砂漠の南に接して、わずかに木や草が生えた土地が広がる地域。サハラ砂漠を縦断して物資を運んだり、羊ややぎの()を行ったりしてきたトゥアグレ族をはじめ、様々な()が暮らしている。

- 教科書 p.30 を使って、サハラ砂漠やサヘルのような地域の気候の特徴をまとめましょう。

気候帯の名前	特徴
() 帯	() していて、雨が少ない。一年中暑く、強い日差しがあり、風が少しふくだけで乾燥した大地から砂ぼこりが巻き上がる。

- 教科書 p.30~31 を使って、サハラ砂漠やサヘルの農業や生活についてまとめましょう。

サハラ砂漠	サヘル
<input type="checkbox"/> 地下水がわき出る()以外、樹木はほとんど育たない。 <input type="checkbox"/> わずかに木が生えた草原を焼きはらって畑を造り、焼いてできた灰を肥料として活用する()農業が行われてきた。	<input type="checkbox"/> () 施設の整備などにより、主食として米も普及している。 <input type="checkbox"/> 現在、() 化を防ぐために、かまどを改良して、たきぎの消費を減らしたり、植林をしたりするなどの活動が行われている。

- 教科書 p.32 の **2** の雨温図や 2 を参考にして、「ナンディ」の気候の特徴をまとめましょう。

気温	降水量

- 年平均気温の折れ線グラフ(赤い線)について、東京が「山型」なのに対し、ナンディは「谷型」になっているのはなぜでしょうか。ナンディの位置に着目して、簡潔に書きましょう。

[]

- 教科書 p.32~p.33 を使って、フィジーのような地域の気候の特徴をまとめましょう。

気候帯の名前	特徴
() 帯	一年を通して気温が高く、() の変化がほとんどない。この気候帯にあるうっそうとした森林を() という。フィジーでは、島の周辺に() が発達し、満潮時には、海水におおわれる場所に育つ常緑広葉樹マングローブが広がっている所もある。

9 教科書 p.34 の **1** の写真や地図帳を使って、() にあてはまる語句を書きましょう。

< **1** の写真について >

□この写真はアンデス山脈の斜面に広がる()の様子をとらえたものである。地図帳を使って確かめると、この国は()大陸の西側に位置しており、首都は()であることがわかる。また、この首都から「地図上で約 500 km 東南東に進んだ位置にある都市」を確かめると、()であることがわかる。

10 教科書 p.34 の **3** の雨温図を参考にして、「クスコ」の気候の特徴をまとめましょう。

<クスコの気候の特徴>

11 教科書 p.34 や p.37 を使って、「クスコ」のような地域の気候の特徴をまとめましょう。

気候帯/気候区分	特徴
() 気候	高山地域に見られる特有の気候。() と関係した気候であるため、ほかの気候帯、気候区とは区別してあつかわれる。気温は、標高が() m 増すごとにおよそ 0.6℃ 下がる。

12 教科書 p.35 の **5** の資料を使って、() にあてはまる語句を書きましょう。

<ペルー中部のアンデス山脈の標高と土地利用>

□2000m…かんきつ類・熱帯作物の栽培 □3000m…() の栽培
 □3500m…() の栽培 □4000m…() の放牧

13 教科書 p.36～p.37 を使って「気候帯」や「気候区分」についてまとめましょう。

気候帯	熱帯		冷帯(亜寒帯)	温帯		
気候区分	氷雪気候	() 気候	冬には寒さがとても厳しくなるが、夏には気温が上がるため、樹木が育ち() 樹やしらかばの森林が広がる。日本の() などこの気候帯に属する。	温帯(温暖) 湿潤気候	西岸海洋性気候	() 気候
特徴	夏でも平均気温が 0℃ 以下のため、一年中雪や水でおおわれている。	短い夏に雪や氷が解けてなくなり、わずかに草やこけが生える		() の変化がはっきりしている。	一年を通して少しずつ雨が降る。	() に乾燥し、冬に雨が降る。

気候帯	乾燥帯		熱帯	高山気候	
気候区分	砂漠気候	() 気候	熱帯雨林気候	() 気候	
特徴	一年を通して雨がとても少ない。オアシス以外では樹木がほとんど育たない。	雨が降る季節(雨季)がわずかに見られる。一部に樹木が見られ、たけの短い草原が広がる。	一年中雨が降り、うっそうとした森林が広がる。	雨の少ない季節(乾季)と雨が降る季節(雨季)とがはっきりしていて、まばらな樹木とたけの長い草原が広がる。	高山地域に見られる特有の気候。標高と関係した気候であるため、ほかの気候帯、気候区とは区別してあつかわれる。

14 教科書 p.38 を使って「三大宗教」についてまとめましょう。

	() 教	キリスト教	() 教
主に広がる地域	東南アジア、東アジア	()、南北アメリカ オセアニア	北アフリカ、西アジア 中央アジア、東南アジア
経典	「経」	「 」	「コーラン」

15 教科書 p.38～p.39 を使って、インドの人々の暮らしと宗教等についてまとめましょう。

<インドの人々の暮らしと宗教>

□インドでは 80% 以上の人々が() 教を信仰しており、インドの社会や暮らしに大きな影響をあたえている。地域や身分によって異なるが、ヒンドゥー教徒の人々は、人生の中で数多くの儀式を行っており、川で身を清める() もその一つである。いくつもの聖地をめぐる巡礼もヒンドゥー教の独特な慣習である。

<ヒンドゥー教の決まりごと>

□ヒンドゥー教では、() は神の使いである。このため、ヒンドゥー教を信仰している人は牛肉を食べない。また、インドに 10% ほどいるイスラム教徒は() を食べない。そのため、インドでは、町に牛肉や豚肉をあつかうレストランや商店はほとんどなく、多くの地域では酒も飲んではいけないことになっている。

16 世界各地の暮らしの変化について、教科書 p.40 の文章を読んで確かめましょう。